

「言葉は出ないけど僕の気持ちを知ってほしいな」

～ 意思の表出支援の取り組み～



つぐみ福祉会 小浜事業所

上司 : Bサービス管理責任者
発表 : C生活支援員

社会福祉法人 つぐみ福祉会

団体発足 昭和30年 手をつなぐ育成会
法人設立 平成 3年 社会福祉法人化
設置場所 法人本部 7ヶ所の事業所

本部・丹南事業所



あわら事業所



丸岡南中事業所



おくえつ事業所



小浜事業所



若狭事業所



福井事業所



つぐみ福祉会 小浜事業所

【令和5年11月時点】

◆生活介護事業2拠点、グループホーム1拠点

○小浜事業所（小浜介護型の主たる事業所）

定員 小浜14名／20名 在籍22名

○名田庄作業所（小浜介護型の従たる事業所）

定員 6名／20名 在籍10名

平均障害支援区分5.1

○グループホーム（しいの実ハウス）

定員 7名／在籍6名

平均障害支援区分5.2

「言葉は出ないけど僕の気持ちを知ってほしいな」

～ 意思の表出支援の取り組み～

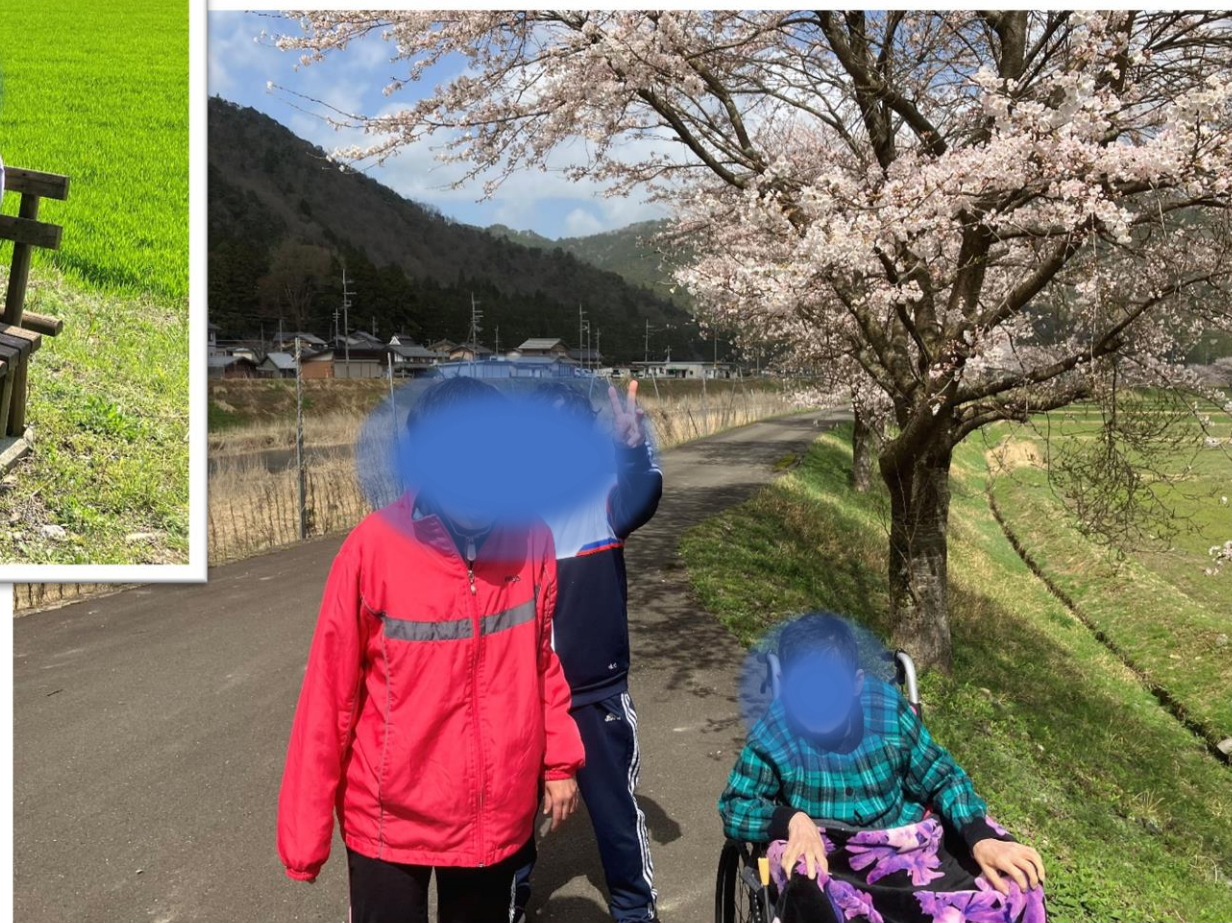
つぐみ福祉会 小浜事業所

つぐみ福祉会 小浜事業所





桜並木のトンネルをみんなで散歩



以前のA様の気持ち

「なぜ、僕の**思い**を分かってくれないの？
僕は伝えているのに…」

「昨日、散髪したのに**誰も気付いてくれないし…**」

「**もういいよ。**」



プロフィール

利用者名： A様(40代・男性)

- ・ サービス： 生活介護、共同生活援助

- ・ 障 害： 知的障がい

(脳性小児まひによる両上下肢機能障害、染色体異常)

療育手帳A1、身体障がい者手帳1種2級、障害支援区分6

- ・ 家族構成： 父、母、猫のミーちゃん

- ・ 「**住み慣れた地域で毎日通える場所が欲しい**」と保護者の思いから当法人利用

- ・ 性格は、こだわりが強く頑固、楽しい雰囲気が好きでよく笑う

これまでの経緯(取り組み前)

- 声掛けや促しがないと椅子に座った状態で過ごしてしまう。
- 身体を動かす事は嫌いではないが飽きやすい。
- 体力の低下も見られる。
- 視覚支援は関心がない。言葉はだいたい理解されている。
- **独自のサイン(マカトン手話)**を用いて自分の思いを伝えてこられる。
- 支援者側はサインを理解できていないため言葉が中心。



マカトン手話とは… (独自のサイン)

1960年代に英国で開発された言語指導法。
サインやシンボルなどを組み合わせて提示。手指による動作表現で、
「共通して使えるように動作が決められていますが

ポイント

個々人の自由な表現方法」でも構わない。使いやすいようにシンプルな動作で出来ています。



課題

- 思いが伝わらないとイライラし何かを叩く行為がある。
- 声掛け、促しがないと椅子に座った状態が続く。
- グループホームでは目が覚めてしまうと館内を歩き回り他の利用者様の睡眠を妨げる。



実践したこと

- ① サイン(マカトン手話)の整理
- ② コミュニケーションを深める
- ③ 保護者・医師との連携
- ④ 個別支援計画の見直し
- ⑤ 個別目標シートの活用

① サイン(マカトン手話)の整理

直接、本人に単語で
語り掛け1つずつ確認
「ご飯は？」



右手はお皿、左手はスプーンを表す

① サイン(マカトン手話)の整理

A様を昔から知る人から確認



親指は
「お父さん」

① サイン(マカトン手話)の整理

A様を昔から知る人から確認

人差し指は
「お母さん」



① サイン(マカトン手話)の整理

A様を昔から知る人から確認



お母さんを
裏返して
「おばあちゃん」

でしたが…

お母さんを裏返して

おばあちゃん…今はこのサイン

「道の駅」です。

保護者の方に確認すると

おばあちゃん、生前は

道の駅の売店で仕事をされていました。



M様サイン 人物

①お父さん



④ H 所長



⑦ K 世話人



⑩ 利用者 R さん



②お母さん



⑤ S 支援員



⑧ 利用者 Y さん



⑪ 利用者 H さん



③ A 所長



⑥ K 支援員



⑨ 利用者 T さん



⑫ 利用者 K さん



出されるサインのほとんどに
何かの特徴や由来するもの
が隠されているのが分かります。



H所長



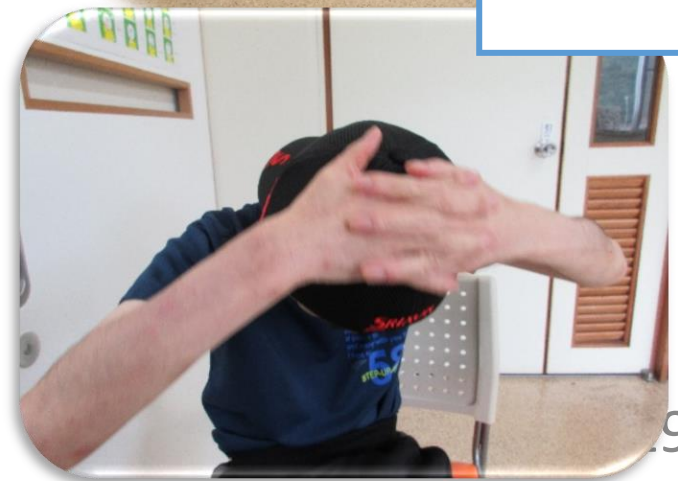
世話人
Iさん



GHしいの実
ハウス



避難訓練





人差し指に中指をからませるこのサイン
一緒に活動する利用者さんを表します。

注目

足を組んでいる所を
表現しています

6 動き・様子		
6-1 ください <i>o.k</i>	6-2 お願い <i>o.k</i>	6-3 もう一回 <i>o.k</i>
		
手のひらを上に向けて手前に引く	両手を合わせる	人差し指を立てる
6-4 立つ	6-5 座る	6-6 見る
		
両手を上に向けて上に動かす	両手とも2本指にし、右手を左手の上に寄せ、指を曲げる	両目の前から指を前に出す
6-7 聞く	6-8 言う	6-9 歩く
		
耳の横に手を広げる	人差し指を口当てて、前に出す	2本指を下に向け、交互に動かす

日本マカトン協会の核語彙330種類 (かくごい)

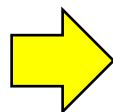
※核語彙330種類とは？＝マカトン法で使用頻度の多い言葉や動作

6-10	6-11 食べる	6-12 飲む
		
		をコップを持つ形にし、口へもっていく
		
		両肩から胸の前に動かす
		6-18 入れる
		
	立てのまま、右から左へ動かす	左手に右手をつける

～A様のマカトンについて～

A様のマカトンの数

＜整理前＞
12種類



＜整理後＞
56種類

僕のサインは
56種類

(・人物 18種類 ・場所 6種類 ・日常生活、その他 32種類)

A様のサインですが協会の核語彙からのサインはわずか
ほとんどが自分の目で見えて観察し独自で考えたサイン



② コミュニケーションを深める



状 況:昼食前

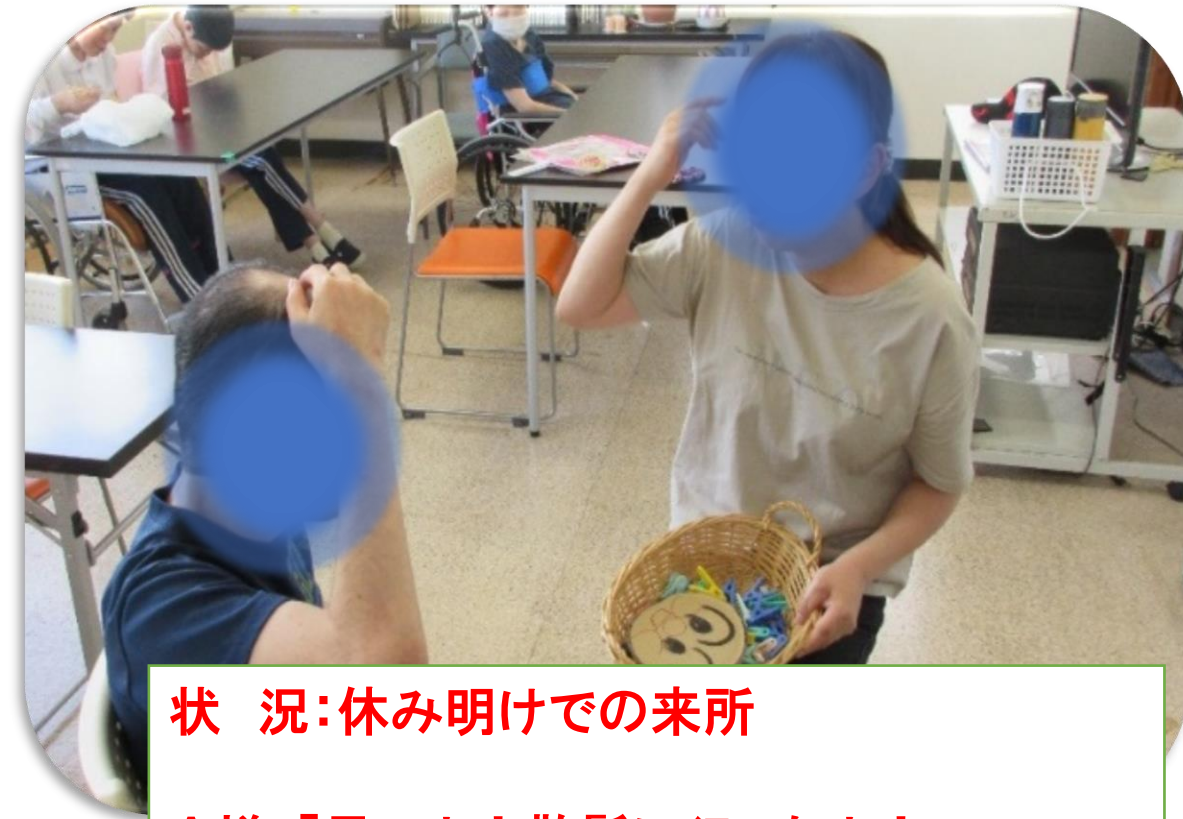
A様:「お腹すいたよ、ご飯まだ？」

支援員:「今準備中やから少し待って」

A様:「今日のメインは？」

支援員:「今日はハンバーグ」

② コミュニケーションを深める



状 況: 休み明けでの来所

A様: 「見てよ! 散髪に行ったよ!」

支援員: 「さっぱりしましたね」

A様: 「似合っているでしょ!」

支援員: 「かっこいい!」



状 況: 食後

A様: 「食後のコーヒーが飲みたいよ」

支援員: 「コーヒーは三時になったら」

A様: 「僕だけ内緒でお願い!」

支援員: 「だめ～」

③ 保護者・医師との連携

・保護者面談で、A様の変化を報告



・保護者を通じて医師に相談
(安定して眠れるように)



深い眠りを得られる
眠剤に変更



服薬タイミングの変更
(夕食後⇒就寝前)

④ 個別支援計画の見直し

生活リズムを整え安定して利用ができるよう、家
携に努めます。

※精神的不調から自他傷の行動が見られる時
ち着くまで一時的に別室で過ごしていただきま
一時的に手などを抑え、行動を制止しますが、
に繋がります。

目 標	支 援 内 容	
短 期 目 標	サービス内容・留意点	い
自分の思いを サインで伝え よう。 〔達成時期： 2023年10月31 日〕	①支援員が理解できていないサインがまだまだあるのでその時の行動や 状況を確認しサインの意味を理解して支援員間で共有できるようにしま す。 ②本人のサインで示す思いを理解出来るようにコミュニケーションをとりな がら確認し共感をしていきます。 ③イライラして物を叩きだした時は、声かけをして安全と気持ちが落ち着く のを見守り、コミュニケーションをとっていきます。	①②③
毎日、ウォー キングをしま	①天気の良い日は、外に出てウォーキングをしましょう。気分を変えて、い ろんなコースを歩いてみましょう。 ②雨の日や寒い日は、室内ウォーキング、バランスボール、スト	①②③ 中

④ 個別支援計画の見直し

A様の出されるサインに対し

「整理」・「理解」・「共有」する

「思いに寄り添う支援」

に取り組むことに。



⑤ 個別目標シートの活用

～今月の目標～

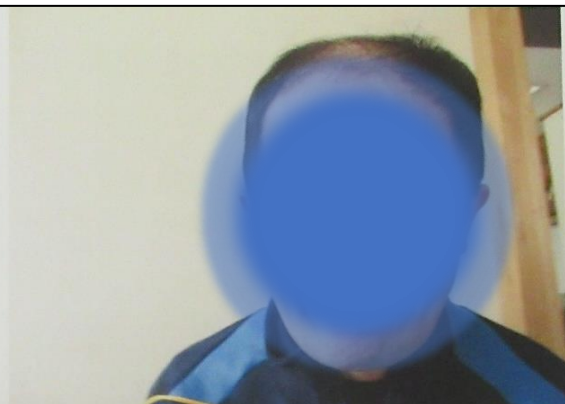
名前(なまえ) : XXXXXXXXXX << 令和 4年 8月 >>

目標(もくひょう)	★毎日運動しよう!★ ①毎日、運動に取り組もう ②歩こう
目標達成の留意点	<いつ(どのタイミングで、どの時間に)、どこで(場所など)、何を(取り組む内容や使う道具など)、どのように(どう支援するか)、取り組むか、など> ①来所したら気分の低下などないか確認する。 ②気分がのらない時は無理をせず休んで頂く。

日にち	1	2	3	4	5	8	9	10	12	16	17	18	19	22	23	24	25	26	29	30	31			
曜日	月	火	水	木	金	月	火	水	金	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水			
目標①	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻			
目標②	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻	🐻			

できた…
できなかった…





名前: XXXXXXXXXX

わたし もくひょう
私の目標

① 1にち1かい うんどう
①1日1回は運動する
 (バランスボール
 ウォーキングなど)

⑤ 個別目標シートの活用

【状況】 来所されても目的や目標がなく椅子に座る時間が多く見られる。

【対応】 活動の取り組み状況や出来たことをチェックすることで見た目で達成量が分かるよう個別目標シートを利用。

【結果】 個別目標シートには興味を示さず取り組む様子は全く見られず。継続して行うなら根本的な見直しが必要。



もっと分かり
やすくしてよ...

⑤ 個別目標シートの活用

視覚支援は関心が低い。

支援者側からの言葉はだいたい理解されている。

言葉が出ないため独自のサイン(マカトン手話)

を用いて自分の思いを伝えてこられる。

何か良い方法
を考えよう。



⑤ 個別目標シートの活用



目標を達成できた時、できなかった
時のサインをA様と一緒に
新しく作ることに。



A様の「サインで思いを伝える
ことができる」強みを活かせるよう
に変更しました。

利用者の変化や現状

★自分の気持ちをサインで伝えることが増えてきた

・気が進まない時は自分から「イヤ」のサインを出され
意思表示が明確に出来るようになった。

※当初は「**任せて！**」などを意味するサインだと
勘違いしていました…

イヤ！

※胸を2回叩く



利用者の変化や現状

★新しくサインが増えた

・新たなサインを出されるようになったが支援者側が

理解できていないサインもあるので今後もその時の

様子や状況を踏まえて意思の表出を行う。

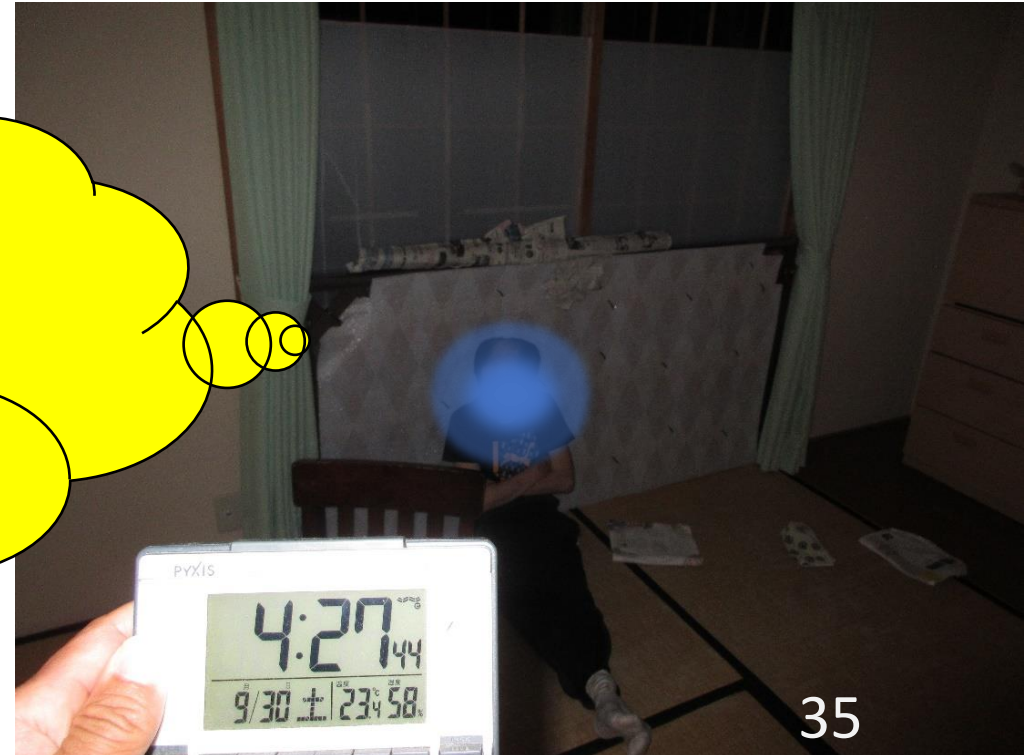


利用者の変化や現状

★しいの実ハウスでの生活に変化が出てきた

- ・睡眠時間が増え起床時間が延びる
- ・目が覚めても館内をウロウロせず部屋で過ごす時間が増えた

部屋で静かに過ごせる
ようになりました。



起床時間の洗い出し

令和 2 年度															
	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		1 0 月		1 1 月
1	水	5:20	金	2:00	月	4:10	水	1:35	土	5:00	火	4:30	木	3:10	日
2	木	2:30	土	0:30	火	4:00	木	4:30	日		水	1:00	金	3:30	月
3	金	2:50	日		水	1:40	金	2:00	月		木	5:00	土	4:10	火
4	土	3:20	月		木	3:20	土	4:00	火	2:00	金	3:30	日		水
5	日		火	5:00	金	4:30	日		水	4:00	土	5:00	月		木
6	月		水	4:00	土	4:30	月		木	3:00	日		火	3:20	金
7	火	3:00	木		日		火	3:30	金	1:00	月		水	3:30	土
8	水	4:30	金	1:20	月		水	4:10	土	3:20	火	4:30	木	3:50	日
9	木	1:30	土	1:15	火	4:30	木	3:00	日	5:30	水	4:50	金	2:00	月
10	金	3:00	日		水	3:40	金	1:30	月	4:30	木	3:50	土	4:00	火
11	土	2:00	月		木	6:00	土	5:00	火	4:00	金	2:00	日		水
12	日		火	2:00	金	0:30	日		水	4:30	土	1:30	月		木
13	月		水	4:20	土	1:30	月		木	3:50	日		火	5:00	金
14	火	4:00	木	4:00	日	3:30	火	5:00	金		月		水	3:50	土
15	水	4:10	金	1:00	月	4:00	水	4:00	土		火	4:30	木	5:30	日
16	木		土	2:20	火	4:00	木	4:30	日		水	2:30	金	4:50	月
17	金	2:30	日		水	4:00	金	1:45	月		木	5:45	土	4:00	火
18	土	2:00	月		木		土	3:50	火	5:00	金	5:00	日		水
19	日	6:30	火	5:00	金	4:00	日		水	3:00	土	3:10	月		木
20	月	3:00	水	3:30	土	4:00	月		木		日		火	5:00	金
21	火	4:00	木	2:00	日		火	4:00	金	4:10	月		水	4:50	土

起床時刻のデータ化(月毎の平均)

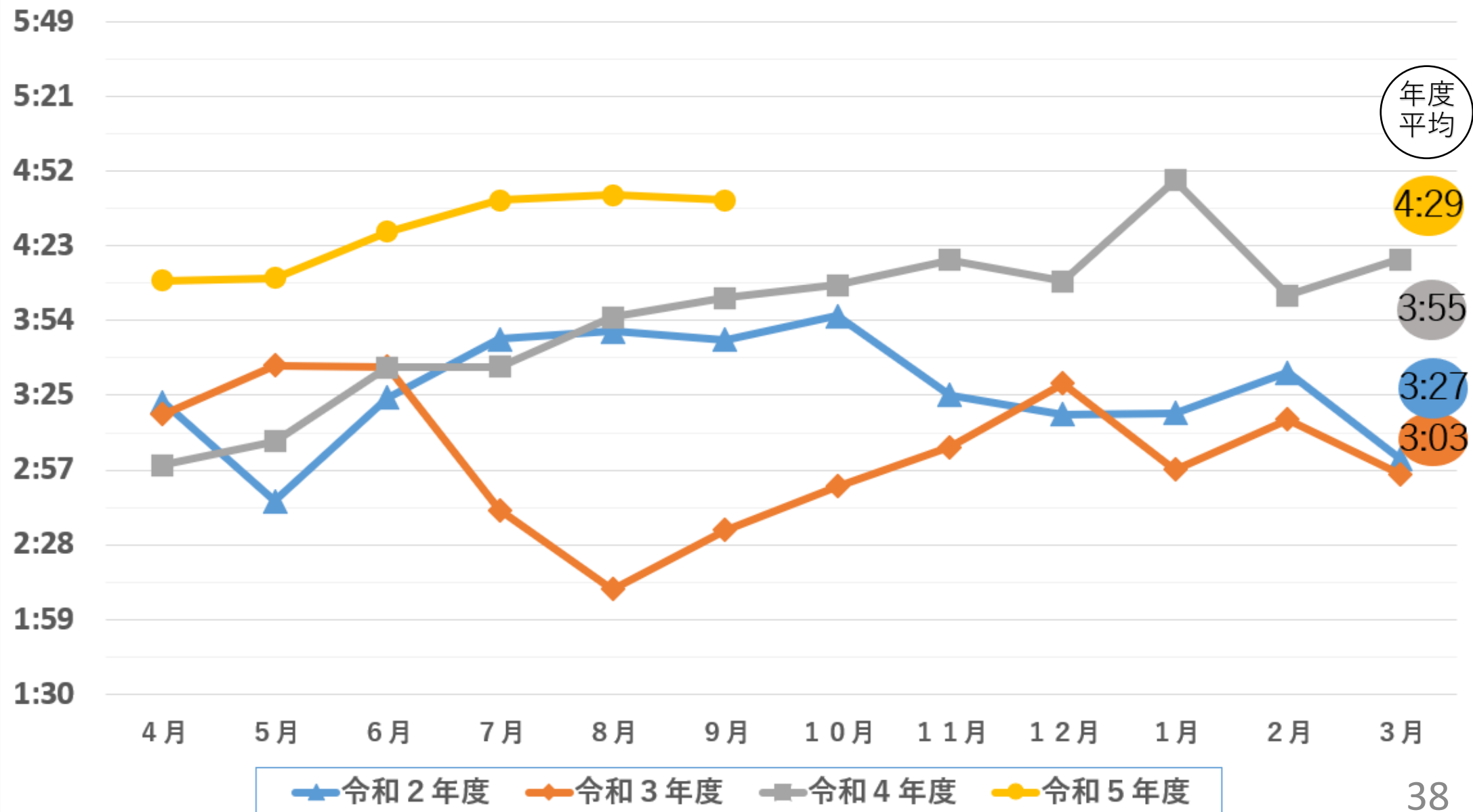
起床時刻	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和2年度	3:23	2:45	3:25	3:47	3:50	3:47	3:56	3:25	3:18	3:19	3:34	3:01	3:27
令和3年度	3:18	3:37	3:37	2:41	2:11	2:33	2:50	3:06	3:30	2:57	3:16	2:55	3:03
令和4年度	2:59	3:08	3:36	3:36	3:56	① 4:03	4:08	4:18	4:09	② 4:48	4:04	4:18	3:55
令和5年度	4:10	4:11	4:29	③ 4:41	4:43	4:41							4:29
平均	3:27	3:25	3:46	3:41	3:40	3:46	3:38	3:36	3:39	3:41	3:38	3:25	

① 着替えのカゴの部屋への持ち込み⇒納得・不安の除去
着替えの服選べるようにした⇒納得

② コミュニケーション増⇒納得・不安の除去

③ 眠剤の変更、服薬時間の調整⇒睡眠の質向上

起床時刻の推移（月平均）



まとめ

- ① 支援員間でサインの整理、理解、共有
- ② 本人の納得、満足感、充実感が増えた
- ③ 睡眠時間が安定
- ④ 自室で落ち着いて過ごせる時間が増えた
- ⑤ 強み(本人なりの意思表示)を伸ばせた

気づき、学び、今後に向けて



言葉では伝えられない



独自のサインで伝えることが出来る
(A様の強み)

気づき、学び、今後に向けて



障がいの特性に合わせた支援方法



個人の強みを伸ばす支援

気づき、学び、今後に向けて



何らかの方法で意思表示している

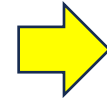


支援者側が気が付いていない
(意思表出の支援の強化が必要)

気づき、学び、今後に向けて

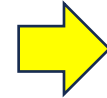


生活介護



毎日通いたい場所

グループホーム



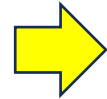
余暇活動の充実

支援者



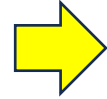
思いに寄り添う支援

仲間



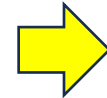
助け合える絆

家族



密な連携

地域の方々



見守り、信頼関係、協力体制



利用者の皆様が、今以上に毎日通いたくなる

「つぐみ福祉会小浜事業所」

を目指します。

社会福祉法人 つぐみ福祉会
名田庄作業所

社会福祉法人
つぐみ福祉会

ご清聴ありがとうございました。